

令和 6 年 第 12 回 定例教育委員会 日程

- 1 日 時 令和 6 年 12 月 5 日 (木) 9:30~12:00
- 2 場 所 役場 4 階 委員会室
- 3 内 容
 - (1) 令和 6 年第 11 回 定例教育委員会 議事録の承認
 - (2) 教育長所掌事務処理経過報告
 - (3) 事務連絡
 - (4) 議題
なし

4 その他

- ① 月例報告について
- ② R5 教育に関する事務事業の点検・評価結果報告書について
- ③ 区域外就学について

令和 6 年 第 12 回 定例教育委員会 議事録

日 時 及 び 場 所	出 席 者	
令和 6 年 12 月 5 日 (木) 9 時 30 分 ~ 10 時 40 分 瀬 戸 内 町 役 場 (4 階 委員会室)	盛 島 正 行 教育長 福 田 豊 久 委員 丸 内 弥 生 委員 渡 島 正 広 委員 岡 野 亜 湖 委員	徳 田 義 孝 総務課長 昇 憲 二 社会教育課長 山 田 将 司 指導主事兼課長補佐 高 橋 進 一 学校教育係長兼指導主事 黒 田 洋 平 総務課長補佐

件 名	審議の状況	採決の次第
なし		

会 議 要 旨

1 開会通告

盛島教育長 ただ今から、令和 6 年第 12 回 定例教育委員会を開催いたします。

2 令和 6 年第 11 回 定例教育委員会 議事録の承認

◆ 丸内委員が朗読し、一部修正のうえ承認された。

福田委員 11 月 24 日、25 日、与路海の子留学の体験留学を実施したと思いますが、その時の状況を教えてください。

黒田補佐 状況について説明いたします。

当日は、来年度入学予定の小学校 6 年生 1 名・中学校 1 年生 2 名、計 3 名が体験しました。自己紹介を行い学校の授業に参加しました。最初は、皆さん緊張されている様子でしたが次第に溶け込んでいきました。途中宿舎となる「グリーンハウス」へ移動し、里

親との面談を1時間程度行いました。その後、学校給食を食べ昼休みを一緒に過ごし体験を終了しました。

3 教育長所掌事務処理経過報告

◆ 令和6年11月5日～令和6年12月5日までについて

盛島教育長から説明がなされ、別紙のとおり報告された。

4 事務連絡

徳田課長 総務課の12・1月行事予定表の説明

昇課長 社会教育課の12・1月行事予定表の説明

5 その他

盛島教育長 ① 月例報告について事務局より説明をお願いします。

高橋指導主事 資料をもとに説明。

丸内委員 一人一人状況は違うので、一律にはいきませんが、私が相談を受けている立場から気になることを話します。保護者の方から自分たちの対応はこれでいいんだろうかという相談でした。本当に日常生活の細々なことのご相談でしたが「いろいろな話をして少しすっきりしました。」と言って帰られました。

不登校の生徒が来なくても、保護者や担任が相談に来られます。不登校も様々で、必ず子どもを学校に行かせるのではなく、子どものどの部分の成長が少しできていないのか、もう少し成長させないと集団生活は難しいという子もいます。どのようなところができていないのか、観察しておくことが大事だと私は思います。この一人一人について、学校として、学習状態や生活の仕方など、その部分の記録があるのか時々感じます。ただ、「来てないです」ではなく、この子の様子をしっかり見て、どのような点に力をつけていけば意欲が上がってくるだろう。そして、最終的に登校につないでいけるように考えていく。ただ引っ張って登校させるだけでは、無理ではないかと思えます。学校でどのような方針を持ってこの子に支援しているのか、私としては一人一人がきちっとできているのか、気になるところです。

盛島教育長 課題となる部分であると思えます。

丸内委員からお話のあった、学校としてどう対応していくのか、わからない人はどのように相談していくのかが、すごく大切なことだと思ってます。私たち教育委員会として何ができるかを、一緒に考えていく必要があると思えます。

一人一人の支援計画は教育委員会に出すようになってますか。

高橋指導主事 支援計画という形では提出するようにはなっておりません。

渡島委員 子どももですが、保護者の養育態度も心配なところです。発達段階に応じて親子分離ができてない状態で、子どもが母親に依存してしまう、そういう方がいました。

チャレンジド奄美などの機関と相談を進めていただきたいと思います。

丸内委員 学校は、敷居が高いところと感じている人が多いと思います。「どんなことでも相談に来てください。」という気持ちをしっかりと学校として伝える必要があると思えます。急にスクールカウンセラーに相談しませんかというよりも、学校の先生が受

け入れて、「大変ですね」ということをしっかり保護者に伝えること。そして、学校の先生方も研修は積んでいますので、校内研修に必ずスクールカウンセラーの研修を取り入れて、対応ができるようにすることが大事だと思います。

岡野委員 不登校対策は、子どもたちが大人になったときに自立して生きていくため、基礎を養うことだと思います。大人がどう手だてするか、学校に行ってもらうか。学年を追うごとに、どこが問題なのか相談することも大事だと思います。本当に何が問題なのかをチームとしてサポートする体制が必要だと思います。

未来の瀬戸内町を支える人材ですので、困ってる人たちにいろんな相談ができる場所があるという情報提供することが必要だと思います。

盛島教育長 まずは、学校・家庭・教育委員会でどうサポートできるかということも研究していく必要があると思います。

盛島教育長 ② 令和５年教育に関する事業の点検・評価結果の報告書について事務局より説明をお願いいたします。

黒田補佐 資料をもとに説明。

盛島教育長 ③ 区域外就学について事務局より説明をお願いいたします。

高橋指導主事 資料をもとに説明。

7 閉会

盛島教育長 以上で、令和６年第１２回定例教育委員会を終了いたします。